



総合的な学習の時間の取組

今回は、中学年が現在取り組んでいる「総合的な学習の時間」について紹介します。文部科学省のHPには「総合的な学習の時間は、変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標にしていることから、これからの時代においてますます重要な役割を果たすものである。」とされています。地域の特色や子どもたちの発達段階などを考慮しながら学校独自の活動が計画されています。各教科等で学習したことを生かす場でもあります。

うけつごう ふるさと潮見(3年生)

9月22日(月)に地域の保存会の方をお招きして獅子舞を見学しました。松山では地方祭でよく目にします。この獅子舞は、



子どもたちも教わっている地域があります。大事な伝

統文化ですので、その由来や現状などに関心をもつことができました。今後も、潮見地区に根差した伝統文化についてどんどん調べていってほしいと思います。

【活動後の感想】(一部抜粋)

- おじいさんと孫の踊りでは、種まきの様子がよく伝わりました。獅子舞は、高く上がったりしかっこよかったです。今度は、踊りの意味を調べたいです。
- 不思議に思ったところは、太鼓のばちが違ったところです。獅子舞の太鼓のばちは、シュロと言うそうです。それを初めて知ったので勉強になりました。

盲導犬ガイドヘルプ体験をしよう(4年生)

9月23日(火)に、4年生が盲導犬ガイドヘルプの体験をしました。盲導犬を見ることが初めての子どももたくさんいましたので、興味津々の様子でした。盲導犬の動きを観察したり、盲導犬を利用されている方へのガイドヘルプを経験したりしました。相手の立場に立って考える



想像力の大切さに改めて気付きました。誰に対しても思いやりをもって行動して、今以上に優しい4年生になることでしょう。

【活動後の感想】(一部抜粋)

- (盲導犬の)ドッグランは、病気をうつしたらいけないから貸切にすると聞いてとてもびっくりしました。
- 盲導犬は日本に836頭、愛媛県に12頭、松山市に6頭いるそうです。注意することは、目をじっと見ない、餌をあげてはいかない、ということだそうです。
- 目の不自由な人の移動手段は、白杖歩行、ガイドヘルプ歩行、盲導犬歩行の3種類だそうです。